

創作

表現したいイメージを着実に形にしていけるように、豊富な例を取り入れながら簡潔かつ丁寧に手順を追って示しました。また、歌唱や器楽教材と関連をもたせ、創作に取りかかりやすくすると同時に表現を深められるようにしました。

(P.26-27)

ミニマル・ミュージックの発想を取り入れた「新しい創作」の提案。独特の音響空間を感じ取って、音楽のおもしろさを新しい角度から発見することができます。コンピュータを活用した創作にも最適です。

(P.57)

《Amazing Grace》のメロディーを用いて、変奏と編曲に取り組みます。

(P.58-59)

(P.66-67)

直前の和楽器を扱ったページ(P.60～65)には日本の音階を用いた表現教材があるので、旋律づくりに取り組む前にその雰囲気を感じ取ることができます。

鑑賞

日本の伝統音楽、世界の諸民族の音楽、西洋音楽の全てに「鑑賞のポイント」を示し、生徒たちが声や楽器の音色の特徴を感じ取ったり、音楽を形づくっている要素に目を向けたりすることができるようにしました。また、さまざまな音楽が影響し合って生まれた「世界のポピュラー音楽」についても取り上げ、多角的に音楽の魅力を捉えられるようにしました。

日本の伝統音楽

それぞれの音楽の特徴を比較することができるよう多種目の伝統音楽を取り上げました。MOUSA①では雅楽、能、箏曲、尺八曲を取り上げたのに対し、MOUSA②では琵琶楽、文楽、歌舞伎を取り上げ、2年間で日本の伝統音楽を幅広く鑑賞することができるようになっています。

総合芸術である文楽と歌舞伎の鑑賞のポイントを提示するにあたり、音源のみで鑑賞する場合を想定した内容も含めています。

(P.70-71)

世界の諸民族の音楽

MOUSA①では「声による表現」と「楽器による表現」という観点であったのに対し、MOUSA②では「身振りを伴う表現」という観点から、合わせて10種類の音楽を取り上げました。背景にある文化や風土などにも目を向けることができるようになっています。

(P.74-75-76)

全ての項目に写真が挿入されているので、参考資料としても貴重です。

実際に演奏してフラメンコのバルマのリズムを感じ取るための表現教材

(P.38-39)

各ジャンルごとに、アーティストとヒット曲を紹介

